

栄えある町勢功労に2人

平成22年度町勢功労者表彰式が「文化の日」の11月3日、役場会議室で行われました。本年度の受賞者は、三浦信夫さん（15区）東海林安子さん（一関市）の2人。三浦さんは町議会議員として永きに

わたり地方自治の振興に寄与され、地方自治功労賞を受賞。東海林さんは社会福祉法人の理事長として地域福祉に貢献され、民生功労賞を受賞されました。関係者約50人が出席した表

彰式で、菅原町長が式辞を述べ、表彰状と記念品を贈呈。受賞者を代表して三浦さんが「周りの皆さんに感謝し、受賞に恥じないよう精進していきたい」と謝辞を述べました。



▶受賞者を代表してあいさつを述べる三浦さん



▶菅原町長から表彰状を手渡される東海林さん

地方自治功労



三浦 信夫さん (15区)

三浦信夫さんは、昭和55年4月に町議会議員に当選以来、4期16年の永きにわたり地方自治の振興、発展に寄与されました。59年4月から1期4年間は教育民生常任委員長、平成4年4月から1期4年間は監査委員を歴任。健全財政の確立と地域福祉の推進、行政改革の必要性の提唱などに尽力されました。

民生功労



東海林安子さん (一関市)

東海林安子さんは、社会福祉法人稲泉会設立から理事長として法人運営に努め、平成2年から町のデイサービス事業を受託開始、7年からは平泉町在宅介護支援センターの受託事業を開始しました。12年からは介護保険制度の施行に伴い、指定介護老人施設・短所入所事業などの受託事業に取り組み、地域福祉の進展に貢献されました。

小野寺さんに感謝状 県小学生バレーボール連盟表彰



連盟から送られた感謝状を手にする小野寺さん

長年バレーボールスポーツ少年団の育成に当たってきた小野寺良二さん（12区）に、県小学生バレーボール連盟から感謝状が贈られました。小野寺さんは、定年退職した昭和59年から平成19年までの24年間、平泉バレーボールスポーツ少年団の監督として尽力され、町内のバレーボールの基礎を築いたほか、一関地区のバレーボール連盟

の指導的立場として同連盟の発展に寄与されました。第一線を退いた今もボール拾いなどを通してスポーツ少年団のお手伝いをしており、「少子高齢化などで年々入団者は減少傾向にあるが、たくさんの子どもたちにバレーボールの楽しさを知ってほしい」と今後の町内バレーボールの発展と子どもたちの活躍を期待していました。

県内で2頭目の認定 介助犬のルール

全国脊髄損傷者連合会岩手県支部事務局長の山平誠さん（16区）と介助犬のルール（ラブラドルレトリバー、雄2歳）が厚生労働省から正式認定を受けました。平成15年10月に制定された身体障害者補助犬法で認定を受けた補助犬（介助犬、盲導犬、聴導犬）はホテルやスーパー、電車やバスなどの交通機関など公共の場所での同伴が認められています。ルールは山平さんと行動を共にして、英語で60の動詞と日本語で20の名詞を聞き分けて、普段の生活のお手伝いをします。補助犬の中でも、盲導犬は全国的に知られていますが、介助犬はまだまだ頭数も少なく認知度が低い現状にあります。今回認定されたルールは、県内で2頭目、全国でも51頭目

新しい民生委員・児童委員

平成22年12月1日の民生委員・児童委員の一斉改選により、次の方々が厚生労働大臣から委嘱されました。任期は25年11月30日までの3年間です。

◎民生委員・児童委員（敬称略）

担当	氏名	住所	電話番号
1区	小野寺 喜 男		
2区	千葉 武 一		
3区	千葉 恵 子		
4区	阿部 金 雄		
5区	千葉 豊 恵		
6区	佐藤 謙 一		
7区	山田 くに子		
8区	小松 弘 子		
9区	余目 ケイ子		
10区	氏家 勝 男		
11区	千葉 つえ子		
12区	千葉 榮 勢		
13区	千葉 由 美		
14区	千葉 次 美		
15区	及川 照 静		
16区	山平 美代子		
17区	鈴木 良 治		
18区	高階 一 郎		
19区	岩淵 タミ子		
20区	佐藤 伸 子		
21区	浅 利 子		

◎主任児童委員（敬称略）

阿部 ひとみ
佐藤 由 吏

民生委員・児童委員は、地域の身近な相談活動などを通して、安心な地域社会づくりを目指して活動しています。お気軽にご相談ください。



菅原町長を訪問した山平さん（前列右）とルール